

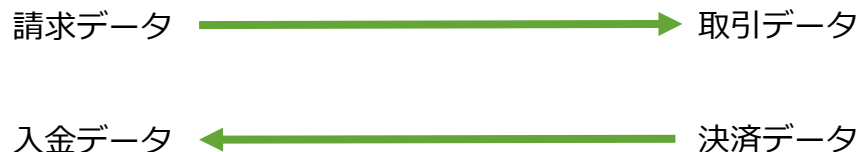
# freee連携オプション 概要

## rootipの「freee連携」とは？

rootipとfreeeを連携(API連携)することにより、以下が可能となります

- rootip請求書データをfreeeの取引データとして登録する
- freeeの決済データからrootip請求書の入金処理をする

※rootipとは別に会計ソフトfreeeのアカウントが必要です



※freeeのサービス名およびロゴはfreee株式会社の登録商標です

# rootipとfreeeの連携手順

1 rootipのfreee連携ページで新規連携をクリック

## freee 連携

### 新規連携

freeeアカウントとの連携を行います。下記リンク先からfreeeにログインし連携を許可してください。

[新規連携](#)

2 freeeにログインし連携を許可

freeeアカウントでログイン

メールアドレス / ログインID

パスワード

ログイン

ログインできない方はこちら

アプリ連携の開始

連携を許可

3 事業所の「選択」をクリック

## freee 事業所選択

### 事業所選択

freeeに複数の事業所が登録されています。連携対象の事業所を選択してください。

ID	事業所名	操作
3047807	root ip デモ	<a href="#">選択</a>

4 連携に成功するとfreee連携メニューが表示

freee 連携

連携アカウント

freee連携概要

1. rootipからfreeeへのマスタ連携

## freee 連携

### 連携アカウント

連携中のfreeeアカウントです。事業所を変更する場合、連携解除後に再度連携を行ってください。

freeeアカウント	事業所	連携日時	操作
mail@rootip.co.jp	root ip デモ	2023/02/28 12:22:00	<a href="#">連携解除</a>

### freee連携概要

rootip請求書データをfreeeの取引データとして登録します。  
また、freeeの決済データからrootip請求書の入金処理を行います。

freee登録後にrootip請求書を送った場合、修正内容はfreeeに適用されません。freee側データの手動修正をお願いします。  
また、rootipにて入金処理済みの請求書は、freee決済データから入金処理を行うことはできません。

#### 1. rootipからfreeeへのマスタ連携

請求書登録前に、rootipとfreeeのマスタ連携を行ってください。  
rootip請求書の「請求先」と「費用科目」は、それぞれfreeeの「取引先」と「品目」と連携します。

メニュー	説明
<a href="#">freee 取引先連携</a>	rootip「請求先」とfreee「取引先」を連携します。同一判定は取引先/請求先の「名前 完全一致」で行います。
<a href="#">freee 品目連携</a>	rootip「費用科目」とfreee「品目」を連携します。同一判定は品目/費用科目の「名前 完全一致」で行います。

#### 2. rootip費用科目/freee勘定科目・税区分 対応設定

任意設定項目です。  
未設定の場合、全てのrootip費用科目はfreee勘定科目の「売上高」として登録され、税区分はrootip費用科目の内容が設定されます。  
印紙代（立替金）など「売上高」以外のfreee勘定科目として登録したい場合、rootip費用科目ごとに設定を行ってください。  
なお、freee勘定科目の品目/備考はrootip費用科目の内容が設定されます。  
また、源泉所得税はfreee勘定項目のマスタ先行として登録されますので、「売上高」以外の勘定科目を用いる場合は必ず設定をお願いします。

メニュー
<a href="#">rootip費用科目/freee勘定科目 対応設定</a>

#### 3. rootipからfreeeへの請求書データ連携

rootipの請求書データをfreeeの取引データとして登録します。  
同一判定はfreee管理番号とrootip請求書番号 完全一致で行います。  
freee登録後にrootip請求書を変更した場合、変更はfreeeに適用されません。freee側データの手動修正をお願いします。

メニュー
<a href="#">freee 取引連携</a>

#### 4. freeeからrootipへの入金データ連携

freeeの決済データからrootip請求書の入金処理を行います。  
同一判定はfreee管理番号とrootip請求書番号 完全一致で行います。  
rootipにて入金処理済みの請求書は、freee決済データから入金処理を行うことはできません。

メニュー
<a href="#">rootip 入金処理</a>

## freee連携

rootipで請求書データを登録した後、手順に沿って連携します

- 1.rootipからfreeeへのマスタ連携
- 2.rootip費用科目/freee勘定科目・税区分対応設定
- 3.rootipからfreeeへの請求書データ連携
- 4.freeeからrootipへの入金データ連携

## freee連携費用

20万円(税別)

※上記費用はrootipにfreee連携メニューを追加する費用です  
freee利用に必要なサービス料等は含んでおりません